

計画反対を唱える住民と共に如何にして復興のモデル地区と言われる街を造れたのか

震災と復興を防潮堤計画から学ぶ

「海と生きる」を復興テーマに選んだ気仙沼市の復興と震災の教訓を学ぶ教育コースです。内容は気仙沼の防災、震災時の教訓、復興の道のりを中心にしていますが、特に復興は多岐にわたるため、視察や教育の目的に合わせて、要望を取り入れ内容を毎回調整しています。

特に、住民の賛否が分かれた防潮堤計画への合意形成と街づくりの工夫からは多くの教訓を学べます。今後起こり得る膨大なガレキの処理やかさ上げ、災害公営住宅や防災集団移転、産業の再生などもご要望に応じて解説します。座学だけではなく、「いろいろ質問したい」「復興の現場を見ながら考えたい」という方におすすめです。

私たちが震災と復興を通して学んだ教訓をぜひ伝えさせてください。

学びの

5

ステップ

震災前の気仙沼を知る

- ・津波想定とトップクラスの津波対策
- ・魚市場を中心とした暮らし

津波被害の概要を知る

- ・自宅を、職場を失うとは
- ・1,300人の命はなぜ失われたのか

いかに復興したのかを知る

- ・津波死ゼロの街づくりとは
- ・命を守る防潮堤計画はなぜ賛否が分かれたか

復興の課題を知る

- ・国民・市民・議会から求められるスピード
- ・住民との合意形成の難しさ
- ・担当者の苦悩「一日でも早く復興させたい」

気仙沼の今を知る ～ 次の震災に備える ～

- ・復興のモデル地区となった街にはどんな工夫がなされているか
- ・どんなご要望にも応じていきます

プログラム時間	90分
集場所	気仙沼市まちひとしごと交流プラザ 交流室 (気仙沼市南町海岸1-11)
対象	行政・企業研修 教育旅行など
定員	20名
料金	行政・企業 10名まで 50,000円 1名追加ごとに 5,000円 教育 30,000円 ※関連資料代込み
申込先	気仙沼市観光協会 Tel. 0226-22-4560 ✉ k-kanko@k-macs@ne.jp
申し込み締め切り	実践日の3日前まで
注意事項	<ul style="list-style-type: none"> ・歩きやすい靴、服装でご参加ください ・天候/気温に応じて防寒着、上着、雨具をご準備ください ・自然災害などの理由により危険が予想される場合は中止にします



